

にんじんも平気で食べられるよ

親子で朝食レシピックキング
(6月27日; さゆり保育園)

特集／消費生活トラブルから身を守る
町政スポット／6月定例議会、キャリアスタートウィーク、きらきらスクール
まちの話題／高田区ホテルのタベ、織姫・彦星ツアー IN 朝日町
タテキリズム～第3回あとりえマサト展覧会～ ほか

広報

あさひまち

2007年7月号

No. 608

朝日町は朝ごはんを食べよう運動を推進します。

近年多発している振込め詐欺や、訪問販売トラブルなど、私たちの日常生活の中には、数多くの危険が潜んでいます。

また、この3月には町全域に光ファイバー網が整備され、町民誰もが超高速通信を享受できる環境が整いました。しかし、便利な環境が整う一方で、インターネットを介したワンクリック詐欺（4頁参照）などについて懸念される部分もあります。

さらに、近年は携帯電話所持の低年齢化も進み、利用について注意が必要になっています。

日常生活の中のいろいろな部分にトラブルの危険が及んでいる現在。それらに対する知識や対策について考えてみましょう。



特集●消費生活トラブルから身を守る

日常に潜む危険

最近の消費生活トラブル事情

「悪い話や怖い事件は都会の話」「こんな田舎で起こるわけがない」と思っていますか。



しかし、「振り込め詐欺」などの新聞報道などを見ると、ごく身近な地域や、地方の田舎暮らしの方が被害に遭っていることがよくわかります。

山形県消費生活センターのまとめによると、同センターへの相談件数は「架空請求詐欺」が開始した平成14年頃から急増し、平成16年度には、1万4873件もの相談が寄せられました。17年、18年と進むごとに、消費者行政やマスコミによる周知が浸透し、相談件数は減ってきましたが、依然として多くの相談が寄せられています。（下表）

その内容は「架空請求」や「（パソコンや携帯電話の）ワンクリック詐欺」等が主ですが、一人で留守番をしているお年寄りを狙った訪問販売（消火器、ふとん、健康食品、

最近では年金に関する詐欺も横行

県消費生活センター及び町への相談件数

相談受付先	H14	H15	H16	H17	H18
山形県消費生活センター	4,376	11,034	14,873	7,667	6,316
朝日町	9	32	74	76	5

住宅リフォーム等）など悪質な詐欺に対する相談も確実に増えています。

さらに直近の大口としては年金問題を逆手に取った詐欺など、時代に合わせた新たなものが次々と出てきており、相談件数が減ってきていても、決して安堵できない状況です。

日常に潜む危険 最近の消費生活トラブル事情

朝日町でも実際にこんな相談や被害が

■架空請求

(H15)H
18までの間
で町への相
談件数48件



情報を取得しようとして、絶対にメールやはがきに書かれた相手番号には電話しないようにしましょう。

■訪問販売(平成19年4月中部地区数箇所にて)

「出会い系サイトやアダルトサイトの利用料」「民事訴訟●●通知書」などとして、全く根拠のない架空の詐欺請求(メール・はがき)を行う業者がいます。相手業者(詐欺団)は、かけ直しの電話からこちらの

訪問販売で「オレンジ」や「お味噌」といった手頃なものを商品にして話のきっかけをつくり、訪問宅には商品を持参せず、外に連れ出し、別の高額の商品を買付け、別の業者がいます。外

実際に消火器販売業者と接した

Aさん (中部地区女性/70歳)



今年4月、日中に知らない男性が訪ねてきました。話を聞くと消火器販売の業者ということでした。前回購入したものが、有効期限が切れていましたので、まあいいかと思いおよそ2万円で購入しました。

数日後、近所の友人にそのことを話すと、びっくり。通常の2倍程度の価格で購入していました。

役場の産業振興課に相談したところ、「クーリング・オフ」という制度を知りました。役場の担当の方にクーリング・オフのはがきの書き方を教わり、返品の手続きを行いました。

その後、いろいろな面で不安な日々を過ごしていましたが、数日後代金が無事返金されました。返金されたとはいえ、改めて不審な訪問者に対する注意の必要性を実感しました。

では複数の人が待っており、買わないと帰れない雰囲気になっています。



また、必ずしも悪質とは言えませんが、消火器を通常の量販店よりも2倍程度高い価格で販売している業者もいます。

まだまだある悪質商法の手口

■点検商法

屋根や配水管、害虫など、「無料で点検します」と家の上に上がり、「屋根がずれている」「このままだと危険」などと消費者を不安にさせ、不要な契約を結ばせます。

(主な商品：浄水器・布団・住宅リフォーム)

■SF(催眠)商法

「新製品を紹介しています」「クジに当たりました」と誘って、閉め切った部屋で台所用品などを無料で配り、雰囲気盛り上げながら興奮状態にして最後に高額の商品を買約させます。

(主な商品：磁気マットレス・健康器具・羽毛布団)

■マルチ商法

消費者を販売組織に誘い、

「本当は要らないんだけど、相手をしないと失礼だ」という、優しい心に相手はつけこんでいきます。相手もプロの売人なので、こちらも断ることが大切です。安易に知らない業者を家に入れない、付いて行かないようにご注意ください。

商品・サービスを購入させ、自分も新たな購入者を紹介し、紹介者が増えることにマージンが入るなどと言って、加入者を増やし組織を拡大させます。

(主な商品：健康食品・美顔器・化粧品・浄水器)

■資格商法

職場や自宅に「資格が取れる」「もうすぐ国家試験になる」など電話で勧誘し、契約させます。また、「今後、勧誘がこないようにするには、登録抹消が必要」などと言って、再度別の契約をさせる二次被害も増加しています。

(主な商品：公的資格取得講座・民間資格取得講座・それらの教材)

便利の裏に危険が潜む。インターネット上の罠！

■ワンクリック詐欺

インターネットや携帯電話の有害サイトなどで、何気なく画面をクリックした際、突然「ご入会ありがとうございます」と画面に表示され、本人の意思に関係なく有害サイトの登録料や年会費を請求されるようなケース。

いかにも正当な契約手続きが完了しているかのように強調し、さらに携帯電話の個体識別番号やパソコンの固有識別番号やプロバイダ名などを表示することで、さも利用者を特定したように見せかけます。また「お支払い頂けない場合には、自宅まで伺います」と脅し文句をかけのるも特徴。

基本的に、サイトにアクセスしただけでは個人を特定することはできません。（※）また、これらの契約行為は法的に無効であり、料金を支払う必要はないため、こういった場合の対処法としては、とにかく無視するのが最善です。（どうしても心配であれば、支払いをする前に消費生活センター、警察などに相談してください）

（※）携帯電話番号にてやりとりするショートメールサービスでは、携帯電話番号を知られる可能性があります。

なお、**違法業者に連絡を取る**ということは、相手に自分の個人情報や渡すことにつながるため、決して連絡をしないことを心がけてください（電子メールも）。また、トラブル防止のため、おかしいと感じたときは表示されているデータを保存したり、画面を印刷したりしておく必要があります。

■フィッシング詐欺

フィッシング詐欺とは、送信者を詐称した電子メールを送りつけ、そこに記載されたURLアドレスから偽のホームページに接続させ、クレジットカード番号、ユーザー名、パスワードといった重要な個人情報を盗み出すなどの行為のことで、「釣り」を意味する「fishing」が語源です。

最近では、もっともらしい文面や緊急を装う文面にするだけでなく、接続先の偽のホームページを本物同様に作るなど、手口が巧妙になってきており、ひと目ではフィッシング詐欺であるとは判別できないケースが増えてきています。

フィッシング詐欺に対しては、明確な対策が取りにくいものですが、電子メールで送信されてきた案内に対して、送信者名や電子メールの内容を鵜呑みにしないことが重要です。

何よりも、インターネット上で個人情報や重要な情報を登録することを避けることが大切です。本物と判断できない場合には、送信元として記載されている会社に連絡をしてみるのもよいでしょう。

■ネットオークション詐欺やトラブル

ネットオークションは、欲しい商品が安く購入できたり、市場に出回っていない商品や非売品を入手できるなど、とても魅力的で便利なサービスですが、最近はさまざまな手口による詐欺やトラブルが以下のように発生しています。

- ①送金したが、商品が送られてこない。
- ②届けられた商品が出品時の説明と異なる。ブランド品と記載されていたが、偽物だった。
- ③破損している商品が送られてきた。
- ④商品を送ったのに、入金されない。

ネットオークションを安全に利用するためには、まず**出品者の過去の取引実績を確認することが大切です。過去の取引実績がないにも関わらず、同時に大量の商品を出品している場合には注意しなければなりません。**

実際に入金したり商品を送付する前には、取引相手の氏名とメールアドレス以外の連絡先（住所、電話番号）を確認しておくことが大切です。電話番号は、携帯電話ではなく、自宅の電話番号を教えてください。もちろん、実際にその電話番号で相手に連絡がつくことを確認しておく必要があります。

実際に入金したり商品を送付する前には、取引相手の氏名とメールアドレス以外の連絡先（住所、電話番号）を確認しておくことが大切です。電話番号は、携帯電話ではなく、自宅の電話番号を教えてください。もちろん、実際にその電話番号で相手に連絡がつくことを確認しておく必要があります。

トラブルが発生してしまった場合に備えて、交換した電子メール、銀行振り込みの控え、宅配便の伝票などの証拠を残しておくことも大切です。

トラブルが発生してしまった場合に備えて、交換した電子メール、銀行振り込みの控え、宅配便の伝票などの証拠を残しておくことも大切です。

以上、「インターネット上の罠」3つのケースを述べましたが、これらはあくまで一般的な事例や対応策であり、実際には個々に適正な対応が求められます。

インターネットは大変便利な道具ですが、一歩使い方を誤ると大きなトラブルに巻き込まれる危険性をはらんでいます。「ID／パスワードなどは厳重に管理する」「ウイルス対策を行なう」などインターネット利用上のルールとマナーをしっかり守っていくことが私たちに求められています。



＝コラム＝ イマドキの小中学生携帯電話事情

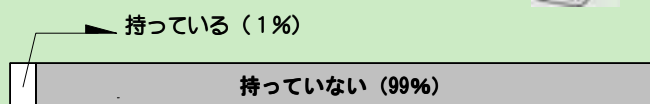
インターネットや携帯電話の利用は大人に限った話ではありません。特に携帯電話の所持については、低年齢化が進み、高校生の所持率はほぼ100%となっています。また、県教育庁義務教育課の調べによると、小中学生についても次のとおりとなっており、いわゆる「出会い系サイト」や「架空請求」など、その利用方法については注意が必要です。

携帯電話の使用については、各家庭での良識ある指導が必要となっています。

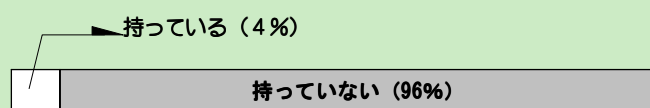
Q. あなたは携帯電話を所持していますか

【小学生】

■朝日町

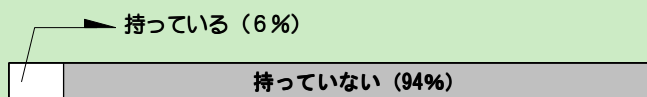


■山形県

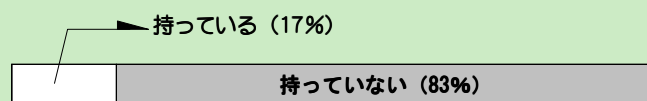


【中学生】

■朝日町



■山形県



Q. 携帯電話使用に関するトラブル等

- ▼有害サイトへのアクセスから高額請求が来た。
- ▼ネット上の掲示板やブログ等への書き込みから人間関係のトラブルが発生した。
- ▼不審メール、迷惑メールやチェーンメールによるトラブルが発生した。
- ▼ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺などでトラブルが発生した。
- ▼出会い系サイトで知り合った大人と会ってしまった。
- ▼友人のアドレスを他人に勝手に教える等、個人情報の漏洩に関するトラブルが発生した。
- ▼卒業生や他校生との交友関係の拡大によるトラブルが発生した。
- ▼使い過ぎにより高額な支払いが必要になった。

資料

「携帯電話の使用状況について」
山形県教育庁義務教育課
(平成18年10月実施)



うまい話には必ず落とし穴があります。あの手、この手の悪質商法にだまされないために、町民の皆さん一人一人が、十分な注意と確かな選択をすることが大切です。そのためには、日ごろから家族や近所の人との会話を心がけて、なんでも相談できるような環境をつくっておきましょう。

また、悪質商法の被害に遭いやすい高齢者や青少年に対しては「気配り」を行い、常に「見守り」を心がけるようにしましょう。

悪質商法の業者は、次々と手を変え、品を変え、言葉巧みに近寄ってきます。人の話を聞いて、自分は引つかからないと思っても、いざとなるとあわててしまうことはよくあることです。そのため、誰でも悪質商法のトラブルに遭う時代となっています。不安を感じたり、「悪質商法かも？」と思ったり早めに役場産業振興課や県消費生活センター、警察署などに相談しましょう。

トラブルにあってしまった、そんな時は？

役場の産業振興課は、みなさんの消費生活上の相談を受け、消費者トラブルへの解決方法をアドバイスする最初の相談窓口です。

また、山形県消費生活センターでは、消費生活専門相談員・消費生活アドバイザーなど専門の知識を持った相談員が、消費者トラブルの解決に向けて、情報提供や助言に取り組んでいます。心配なことがあればどうぞご利用ください。

問合せ先

▼役場産業振興課商工観光係
☎ 67・21113

▼山形県消費生活センター
☎ 023・624・0999

▼寒河江警察署生活安全課
☎ 83・0110(代)

▼県警本部生活安全相談
(24時間受付)
☎ 023・642・9110



定例議会

6月8日から12日までの5日間の日程で町議会6月定例議会が開催されました。

主な議案としては、任期満了となる朝日町固定資産評価審査委員会の委員に井澤壽一氏が再任されたほか、一般会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計の補正予算案が可決されました。また、朝日町医療給付条例の一部を改正する条例の制定など合計7議案が原案通り可決されました。

そのほか、議員発議・請願がそれぞれ1件ずつ可決、採択されました。

町政報告

■平成18年度一般会計決算

実質純剰余金は1億1770万円余の見込み。この歳計剰余金は、町財政計画により財政調整基金及び繰越金に。

■固定資産税・軽自動車税の当初賦課額とはともに昨年比増

当初賦課額は固定資産税が約3億3802万円（前年比100・7%、約247万円の増）、軽自動車税が約2038万円（前年比100・4%、8万円の増）

■平成18年度の町税収納状況は97・9%

5月末日現在の（国保税を除く）普通税の町民税、固定資産税、軽自動車税の現年度及び滞納繰越分の徴収率は97・9%、未納額約1284万円。

また、国民健康保険税の滞納繰越分を含めた徴収率は97・5%、未納額約916万円。

■新路線で地域タクシー運行

平線、雪谷線、玉ノ井線の合計3地域で新路線を運行。4月の全路線を合わせた利用者99人のうち、新路線の利用者は計23人。

■高校生等通学支援助成金

5月末日までの交付申請26件に対し、総額約78万円を助

寄付採納報告

▼ブルーヒーター 1台 (50,000円)

平成18年度西五百川小学校卒業生保護者一同（村山伸俊代表）から西五百川小学校へ

▼紅白幕 2張 (72,000円)

平成18年度宮宿小学校卒業生保護者一同（松田勝美代表）から宮宿小学校へ

▼花瓶1基 (20,000円)

平成18年度和合小学校卒業生保護者一同（菅井和則代表）から和合小学校へ

▼エレクトーン1台 (既使用品)

佐藤秀爾さん（平）からさゆり保育園へ

▼バドミントンラケット6本 シャトル1箱 (15,068円)

石川トキエさん（寒河江市／前大谷小校長）から大谷小学校大沼分校へ

▼車両（平成9年登録ホンダCR-V）1台

日笠 紘さん（横浜市／平成17～18年度農水省との人事交流職員）から

▼防犯ベル55個 (40,425円)

朝日ロータリークラブ（鈴木敏夫会長）から新入児童へ

▼飲料水（2ℓペットボトル）50ケース（300本）

仙台コカ・コーラボトリング株式会社（山形営業所佐藤進所長）から災害時の飲料用として

▼車椅子移送用車両（ダイハツアトレー）1台

ダイハツ工業（株）箕浦輝幸取締役社長、山形ダイハツ販売（株）鈴木重行代表取締役社長 から



ホンダCR-V(左)とダイハツアトレー(右)

■「ぬくひデイサービスセンター」がオープン

成。通学費負担軽減に努める。4月1日より新たな通所介護施設としてオープン。5月末までの利用契約者は19人。



ぬくひデイサービスセンター

■朝日町保育園検討委員会

5月24日に先進地視察（西川町・鶴岡市）を実施。今後適正規模や運営形態に関する意見書について8月頃をめどにとりまとめ、報告予定。

■今冬の暖冬による果樹への影響は特になし

初期生育が異常に早まることによる生育障害が懸念されたが、4月以降の低温により逆に平年より3日程度の遅れで推移したため、重大な障害は回避されたもよう。

■りんごの樹オーナー制に60口の申し込み（昨年比4口増）

県内が37口（山形市21口ほか、天童市、寒河江市、上山市など）、県外が23口（宮城県20口、ほか大阪府、奈良県、東京都が各1口）で、山形市と宮城県のオーナーが中心。

■朝日自然観第8期株主総会

5月30日に開催。前助役の丸山潔取締役の退任に伴い、高橋康則副町長が取締役に補欠選任。任期満了の監査役には佐竹房夫氏、松尾亮蔵氏が再任。

■合併処理浄化槽の設置補助

本年度は40基分を予算化。5月31日現在の事業申請数は12基。今後目標達成に向けて推進。

■水道事業平成18年度決算

経費節減に努め、収益的収支差引2290万円を純利益として計上見込み。

■町立病院での研修を希望する13人の研修医を受入れ

地域医療の大切さややすばらしさを学び、将来の医師確保に少しでもつながることを期待し、積極的に取り組む。

■平成19年度新生入生

小学生55人、中学生82人が

元氣に入学。

■平成20年度の統合に向け、 和合小学校と宮宿小学校との 交流学習推進委員会を立上げ

年5回の交流学習やPTAの相互交流などを計画。5月

31日に交流学習開校式を実施。両校児童が安心して学べる環境づくりとスムーズな統合に向けて努力。

■放課後子ども教室

今年度の新規事業である放課後子ども教室。年間150日程度の放課後活動を計画。6月5日に地域ボランティアの方々の協力を得て宮宿小学校で事業を開始。

りんごっこクラブも、今年度は35人の子どもたちが登録し元気に活動。

■人材育成事業

町民主導のまちづくりを進めるため、担い手育成を目的に今年度よりスタート。「あさひ未来塾」と題し現在、参加者の募集中。多くの皆様の参加を期待。

定例議会の動画配信



6月定例議会から議会中継のインターネット動画配信が始まりました。これは光ケーブル等一連の地域情報化事業の一環で整備したもの。

会期中の様子をリアルタイムでご覧いただけるほか、好きなときに見ることができるよう「録画中継」もあります。朝日町のホームページ内にある「議会中継」の項目からご覧いただけますので、ぜひご覧ください。（臨時議会は配信していません。定例議会のみとなります。ご了承ください。）

人間の仕事

軍師山本勘助を描くNHK大河ドラマ井上靖原作「風林火山」。毎週わくわくしながら、その放送を待っている。昨今であります。

戦国時代の人間の「生き様死に様」。いつもこの時代の小説・ドラマに触れるたび、深く考えさせられるものがあります。

時代は更に遡ること「天平時代」。学生時代読んだこれも井上靖の時代小

説「天平の夢（いらか）」の一場面をふと思い出しました。

天平時代の日本人僧「業行」は唐に渡り、二十数年の間誰にも会わず一室に籠って、膨大な経文の写経を続けました。そしてそれを日本に運ぶという知識の運搬者として自分を限定することとで、自分の歴史的使命を果そうとしました。しかしその彼が日本への帰国途中海難に遭い、自分もそして人生の大半を費やした膨大な写経本も、一瞬の内に海の藻屑と化してしまいました。今もその場面が、私の脳裏に強烈に焼

きついています。

現在私達がしている仕事も、より大きな理想とともに、結局徒労ではないかと言う疑問と不安が、時としてつきまとってくるのも事実です。当時の留学僧等は、その習得した経文・知識を無事日本へ持って帰れるかどうかも分からず、また日本のために生かすことができるかどうか分からない知識のため、生涯を賭けていたのです。

「人間の行為の意義、無意義を分かち、人間の意志を超えている。人間の歴史も、結局人間行為の捨石の上

自分をつくり、まちをつくる。

町民が主役のまちづくりを支援する人材育成事業「あさひ未来塾」がはじまります。朝日町を住み良い活気あるまちにしていけるには、「人の力」しかありません。

「何かを始めて充実したい」「目標をもって仲間づくりをしたい」「まちづくりに興味がある」という方々をお待ちしています。

- ①「助け合いのまちづくり」（子育て・福祉・介護）
- ②「まちづくりコーディネート」（地域コミュニティ）
- ③「もてなしの心をつなぐ産業交流」（産業・観光・交流）
- ④「田舎暮らし」（移住・スローライフ）

以上の4コースがあり多彩な講師と実践研修などを取り入れた目的達成型の内容となっています。

※詳細については、町のホームページか教育文化課

☎67-2118にお問合せ下さい。



塾生募集中

それは、出会いと対話する「あさひ未来塾」

朝日町長 鈴木浩幸

町長と語ろう スタート

3年目となる「町長と語ろう」が6月26日の栗木沢区を皮切りにスタートしました。

今年度は、3月に策定された「朝日町定住促進ビジョン（広報あさひまち5月号でも紹介）」をもとに、現在町がすすめている定住対策について説明しています。

第1回目の開催となった栗木沢区では、北部地区への学童保育の

要望や栗木沢住宅団地の販売方法



の改善など多くの意見が出され、町長は熱心に耳を傾けていました。今年も全地区での開催が予定されていますが、町ではこれまで座談会等の経験がない、20代〜40代の子育て世代の方々の出席を特に呼びかけています。

出前 町長と語ろうを開催

ふたば保育園内に設置されている「子育て支援センター」主催の「出前町長と語ろう」が6月26日開催され、およそ15人の方々が参加しました。



子（孫）育て真っ最中の皆さんと町長が直接膝を交えて話をするという初めての試み。よちよちクラブや各保育園での乳幼児教室など、子育てを支えるいろいろな取組みに対しての感謝の言葉もあれば、「創遊館トイレにチャイルドチェアを」「創遊館女子トイレ内に小児男子用の便器を」「創遊館や豊龍の丘芝生広場に日陰ができるようなシンボルツリーがあれば…」など、子育て中の方々ならではの意見も。



町では、現在開催している地区ごとの「町長と語ろう」のほか、こういったいろいろな団体との取組みも機会があれば随時行っていきたい考えです。



朝日町キャリアスタートウィーク

地域や事業所に対する理解を深め、異世代間のコミュニケーション能力や社会生活上のルールを身につけることなどを目的として、7月2日から5日間の日程で、朝日町キャリアスタートウィークと題した中学生の就業体験が実施されました。

昨年に続く開催に町内の計28事業所が協力。このうち、（有）朝日町ワインで就業体験をした鈴木由優^{ゆう}さんは「大人の方との仕事で緊張しますが、わからないことも丁寧に教えてくれるので勉強になります」と感想を語りました。



東亜メッキ工業(株)に産業立地奨励金

町産業立地促進条例の該当第1号として、大谷字高野地内に昨年6月から操業した東亜メッキ工業株式会社（本社：山形市）に奨励金1060万円が交付されました。

町では企業誘致と商工業の活性化のため、一昨年5月に同条例を制定。1事業者1000万円を限度とする事業所設置奨励金と、町内新規雇用者1人あたり30万円の雇用奨励金を交付する内容となっています。

現在、11人が就業する同工場。主に自動車部品のメッキ加工などを手がけています。

放課後子ども教室「きらきらスクール」

放課後の子どもたちが安全安心で健やかな活動場所を確保するための放課後子どもプランが国の事業として創設されました。それをうけて、町の実情に合った内容にするため、昨年度より検討会を重ねてきました。



安全管理員は黄色い帽子と名札をつけています

その結果をもとに6月5日より宮宿小学校で放課後こども教室「きらきらスクール」がスタートしました。その内容は2人

の安全管理員(現在18人の方に委嘱し交替で配置)が学校の行事に合わせて放課後の子どもたちの活動を見守るもの。体育館や校庭で遊ぶ子どもたちをそっと見守る活動のほか、地域の先生を講師に勉強やスポーツ、伝承昔遊び、お話し会などの活動をする「きらきら教室」があります。また週末には、自然体験や地域探検を目的にした「交流体験活動事業」も開催する予定です。



6月18日の手話教室

6月18日、第1回きらきら教室として、新保幸子さん(緑町)を講師に手話教室が開かれ、子どもたちは楽しく学びました。

2年間の農林水産省勤務を振り返って

産業振興課

主事 海野 淳



平成17年4月から農林水産省(以下農水省)と市町村との人事交流により、農水省本省に2年間勤務し、この春に朝日町役場に復帰しました。勤務初日、ドキドキしながら農水省に到着するなり、前担当者から職務内容の引継ぎがありました。さらに、その引継ぎが終わらないうちに、新採職員の研修があったりと、慌ただしい一日でした。そして、一日が終わり、農水省の寮に到着してみると、送った荷物が届いてなく寒い夜を過ごし、朝日町がとても恋しくなったのを懐かしく思い出します。

「違う世界に突然来てしまった」というのが第一印象でした。今までの仕事のやり方とは全く違い、ほとんどがメール・電話でのやり取り。仕事のやり方進め方一つ一つについて、その都度周りの人に聞きながらで、いつも周りについていくことが精一杯だったような気がします。

1年目は、農水省でISO14001という国際規格を取得するためのシステムづくりと各部局との調整、2年目は果樹の対策について関係機関と調整や要綱の整備等といった仕事に携わりました。どちらも仕事に対する重圧が大き

く、また、今まで狭い視野でしか物事を見ていなかった自分には、農水省職員の情報収集力、分析力、説明能力の高さに圧倒され、自らの認識の甘さを痛感させられました。

この2年間で改めて感じたことは、農林水産行政の幅の広さ。生産振興から食の安全・安心対策等の消費者への配慮に至るまで、多岐にわたります。この中で生産現場に一番近い市町村においては、財政状況や権限の点からもできることは限られています。また、第一義的に現場に最大限の施策の効果をもたらすべきである点から考えると、市町村は、様々な施策に幅広く手をつけるのではなく、自分たちがやるべきことと、広く都道府県や国レベルがやるべきことを見極めながら、効率的に分担・協力していくことが必要であると実感しました。

私のような市町村交流の職員は、毎年全国各地から5〜10名ほど選ばれ、農水省本省あるいは地方農政局に配属されます。農水省はその他にも県・市・民間からの出向者も多数受け入れ、他の省庁より開かれた感じがしました。それらの方々と私たち市町村交流職員との定期的な勉強会もあり、そこで省内外の方、全国各地の方と知り合うことができました。この2年間は、いろいろな意味で、かけがえのない貴重な経験になりました。



本省勤務最終日 農水省事務次官(左から3番目)らと



社会を明るくする運動

まちの話題



さゆり保育園

高田区ホタルの夕べ (6月24日／高田区内)

区の実施によるホタル回帰

6月24日、高田区で、村おこしの一環としてホタルの鑑賞会「蛍の夕べ」が行われました。

昔はたくさんいたホタル。いつの間にか姿を消してしまったことに危機感を感じた区民の皆さんは、農薬使用に配慮するなど、数年前からホタルの回帰活動に努めてきました。



また、この活動に加え、近年は合併浄化槽が普及してきたことから、沢は清流に戻り、えさとなるカワニナなどが増え、6～7年前から徐々にホタルの数が増えてきました。

当日は雨上がりのため、少し気温は低かったものの、油子沢周辺はホタルの光のページェントと



なり、町内外からの見学者の心を魅了しました。

また、鑑賞会の後には、公民館で、地元で取れたイチゴやスイカのもてなしもあり、

「朝日町の自然のすばらしさに感動しました」「地区のまとまりがありとても良いですね」と、それぞれ初夏の夕べを楽しんでいました。

区長の佐竹庄吉さんは「高田ではホタルと一緒にめだかの繁殖も行っています。自然が相手なので心配なことはありますが、たくさんの方が来て憩いの場になれば、区民の励みにもなります」と熱く語ってくれました。



大町元気クラブ さゆり保育園児と交流 (7月4日／宮宿公民館)

みんなで七夕飾りを製作



7月5日、大町元気クラブの皆さんとさゆり保育園児の交流会が開催されました。

7月7日の七夕にちなんで、七夕飾りを製作。園児が作った短冊を、お年寄りの方々が一つ一つ丁寧に結びつけました。このほか、園児によるお遊戯、肩たたきや昔遊びも行い、会場となった宮宿公民館は満面の笑顔であふれていました。

織姫☆彦星ツアー IN 朝日町 (7月7日／町内各処)

七夕に運命の出会いを願う



ラジオ放送局のFM山形と旅行代理店のJTBが主催する「織姫☆彦星ツアー IN 朝日町」と題したイベントが7月7日の七夕の日になんで開催されました。

2007年7月7日という7が3つ揃うまさしくラッキーデーに運命の出会いを探す若者約40人が参加。ワイン城や能中の一本松公園、ダチョウ展示園などをめぐり、夕方からは自然観で交流パーティーが行われました。朝日町からも男女計9人が参加。果たして彼らは運命の出会いを果たすことができたのでしょうか・・・

毎週多彩なイベントを開催



旧立木小で創作活動を行っている芸術家5人で構成するあとリエマサトの「タテキリズム」と題した展覧会が6月10日から7月8日まで開催されました。

日本画、版画、金属工芸品などの作品が、木のぬくもり漂うあたたかな雰囲気のある校舎にあわせて配置され、校舎と作品が一体となった展示となりました。

1ヵ月の展示期間中、毎週多彩な催しを開催。7月1日には「旧立木小まえバス停まち合いの場



デザインコンペティション」と題し、同待合所の待合ベンチのコンテストが開催されました。現役芸工大生約40人の作品を、朝日相扶製作所の阿部佳孝社長や立木区民代表として清野賢一郎さんらが審査。優秀作品を選考しました。(最優秀作品は今後製品化され、実際に現地で使用される予定)

また、7月7日には「音を絵にする」と題したワークショップも開催。山形市のアンサンブル・ピノ(山形交響楽団のバイオリン担当3人によるユニット)の方々の演奏を鑑賞しながら、イメージされる情景について水彩絵の具で表現しました。



Asahi自然観グラウンドゴルフ場で除草作業 (6月14日／Asahi自然観)

今月20日にグランドオープン

青空の広がった6月14日、昨年造成した自然観グラウンドゴルフ場の除草作業が行われました。ここは、昨春秋に、町グラウンドゴルフ協会の会員や自然観・町職員らの協働による芝張り作業が行われており、この日も、上記メンバーら約40人が作業に汗を流しました。

多くの方々のご協力により、しっかりと根を張った同ゴルフ場は、今月20日にオープンします。一般の利用は同日の午後1時からとなりますので、ご利用は自然観(☎83-7111)までお申込みください。



第36回山形県母と子のよい歯のコンクール

優良賞に堀淳子さん・如水くん親子

(社)山形県歯科医師会が「歯の衛生週間」事業の一環として主催する「第36回山形県母と子のよい歯のコンクール」で、堀淳子さんと如水くん親子(大谷七)が優良賞を受賞しました。



心がけていることを尋ねると「毎日の歯みがきですね。フッ素洗口をしたり、家では特に仕上げ磨きを欠かさないようにしています」と話してくれました。今回の受賞については「いい記念になったね」と家族みんなで喜んでいるとのこと。

うたと語り部の会 (6月23日／北村輝雄さん宅)

趣深い昔語りに会場全体が魅了



6月23日、「うたと語り部の会」が大沼の北村輝雄さん宅にて開催されました。

第1部は町のコーラスサークル「あめっかぜ(松田昌弘代表)」によるコンサート。6月30日まで滞在していたモンゴルからの留学生のデーギーさんも参加し、「どっこいしょ節」など約10曲を熱唱しました。

第2部は細谷ヒロさん(宇津野)らによる昔語り。「せがれになったタヌキ」などの昔ばなしを語りました。



築120年余の古民家で、昔ばなしの情景をそのままに感じさせる北村さん宅。その雰囲気と細谷さんの独特の語り、地区民などの参加者約30人が引き込まれていました。



みんな の ひろば

空気神社参道入口、緑のブナ林からの、木もれびの中にたたずむ、そば処「そら」。そこで毎週日曜日、来訪者に対し手打ちそばを振舞っている団体が「そばの実会」です。県内産のそば「でわかおり」を石臼で挽いた、こだわりの二・八そばを提供する同会。彼らは町内のそば打ち愛好者の集まりで、皆キャリア10数年余のベテランです。この経験を生かし「朝日町、そして自然観への誘客に少しでも貢献できれば」との強い思いから、平成17年5月より、そば処「そら」の運営を担っています。

特徴的なのは、構成員6人のそれぞれの職種や経歴。ガス販売業、左官業、建設業（大工）、そして神主や町役場の退職者など様々なキャリアを持つ方々が運営に携わっています。



Asahi自然観蕎麦処「そら」を運営
「そばの実会」代表 宮本建一さん

今輝いて

す。もちろんそば店の経験者はいませんが、「極め尽くしきれない面白さ、奥深さがあるんです」と会員の一人は語ります。豊かな自然の恵みを活かしながら地産地消や本物志向、そしてこだわりの風味や技を探究。天ざるに使用する素材も地元で採れた旬の山菜やキノコ、さらには野草や木の葉など、昔から地元の人が食べていた自然志向の食材が並びます。

「おいしいそばには、上等のそば粉のほか、良質の水が必要不可欠。その意味では、朝日山麓から、自然の恩恵を受けた豊富な水が流れ出るこの地は最高の環境です」と代表の宮本さんは語ります。また、「おやじの道楽に、かあちゃんを引き込んでしまつて」と苦笑いも。そばのゆで方や天ぷら揚げ、接客、はては山菜の採取まで。時には奥様方の支援もあつての運営のようです。

千客萬來。おだやかに爽やかに輝く、熟年の皆さんです。

日曜祝祭日のみ営業
1日30食限定
もりそば700円ほか
Asahi自然観
☎83・7111



第37回西村山中学校総合体育大会（6月16日～17日及び26日～27日 管内各会場）

陸上競技女子最優秀選手に近藤香澄さん

【団体】①男子剣道①女子剣道②ソフトボール②女子駅伝③男子バスケットボール③野球③男子卓球▽③陸上女子総合③水泳女子学校対抗

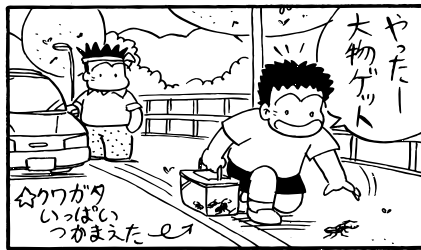
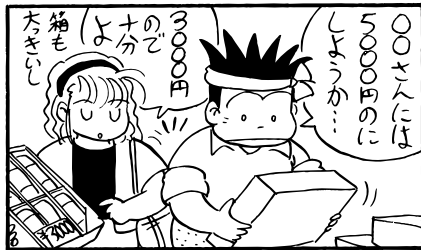
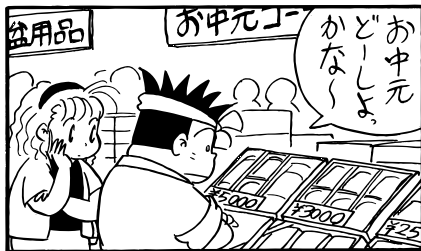
【個人】＝柔道＝▽男子50kg級①村山弦士③鈴木裕平▽同55kg級③澤俊輝▽同60kg級②熊谷基▽女子48kg級②五十嵐夏美＝剣道＝▽男子①佐藤陸②星野裕太③阿部陽祐③富樫龍優▽女子①志藤綾子②白田瑠璃③富樫幸姫＝陸上＝男子▽2年100m③村山和輝▽3000m③菅井拓人▽走高

跳③鈴木裕平▽共通4種③阿部悠佑 女子▽800m①近藤香澄(地区新・大会新)③若月未来▽1年1500m①鈴木智美▽2,3年1500m①近藤香澄(大会新)▽走高跳



独走する近藤選手(女子800m)

①若月未来▽砲丸投げ②菅井舞▽共通4種①菅井舞▽共通4×100mリレー①(鈴木智美、若月未来、清野真好、近藤香澄)



大谷六
阿部 幸治さん
枝里子さん



今年4月に結婚したばかりの二人。知り合ったのは5年前の冬、枝里さんがタイヤ交換のため、幸治さんの工場へ行ったのがきっかけでした。

いつの間にか一緒に遊ぶようになったという二人ですが、年の差もあり、結婚は全く意識していなかったそうです。しかし、「つらいときや悲しいとき、幸ちゃんはいつもそばにいて支えてくれた」と語る枝里子さん。そして、この人になら一生ついて行きたい、と思ったそうです。幸治さんも「彼女のそばにいて一生守ってやりたい」と結婚を決意。周りには内緒にしていた交際だったので、発表したときはみんな大びっくりだったそうです。

「お互いに飾らないでいられるのが一番、普通って言うのが一番難しいんだけど、あたたかくて笑いのある普通の家庭を作りたい」という二人。きっと笑顔あふれる家庭を築いていかれることでしょう。末永くお幸せに。

▼疑史世界伝(清水義範) ▼がらくた(江國香織) ▼きみはパラリス(三浦しをん) ▼本当に生きた日(城山三郎) ▼日本一不運な男(新堂冬樹) ▼僕はパパを殺すことに決めた(草薙厚子) ▼逆立ち日本論(養老孟司) ▼温暖化の世界地図(Kirstin Dow) ▼陰日向に咲く(劇団ひとり) ▼オール(山田悠介) ▼狂宴の果て(江上剛) ▼仕事と人生(城山三郎) ▼純愛小説(篠田節子) ▼カシオペアの丘で 上・下(重松清) ▼戦力外通告(藤田宣永) ▼銀しやり(山本一力) ▼大江健三郎作家自身を語る(大江健三郎) ▼萱刈(辻井喬) ▼夜想(貫井徳郎) ▼カオスの娘—シャーマン探偵ナルコ(島田雅彦) ▼最後の命(中村文則) ▼ロック母(角田光代) ▼永遠のとなり(白石一文) ▼かつてまま(諸田玲子) ▼疑惑(折原一) ▼壊れた光、雲の影(片山恭一) ▼パライズの寺(坂東眞砂子) ▼ワーキングプア—日本を蝕む病—(NHKスペシャル「ワーキングプア」取材班)、ほか



上杉家の家老でありながら豊臣秀吉を魅了し、徳川家康を畏怖させた傑物、直江兼統。謙信から受け継いだ「義」の心は、やがて仁愛の境地に達する。この苦闘と栄光の生涯を十全に描く。

自己評価を育むために大切な「子どもの自立心を育てる」ことを中心に、思春期の対応など、子どもの心の育て方をマンガやイラストで具体的にアドバイス。読者の皆さんから寄せられた質問に答えるQ&Aも収録。

2009年NHK大河ドラマ原作本
「天地人 上・下」 火坂 雅志 著

「子育てハッピーアドバイス 3」 明橋 大二 著

町立図書館おすすめ 今月話題の本

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題
日頃感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■Eメール／inform@town.asahi.yamagata.jp
■URL／<http://www.town.asahi.yamagata.jp>
■携帯サイト／<http://www.town.asahi.yamagata.jp>



広報紙面に載るのは成績上位者だけ。なぜ

問

なぜ、朝日町では各大会で好成績をとった人しか（広報）誌面に載せないのですか。私の実家の広報誌では、中学生が部活動やクラブの成績ではなく、自ら挑戦し、目標を持ってがんばっている姿をよく紹介しています。

朝日町全体が成績だけを評価している傾向にあると感じるのです。（小・中学校含め）
それでは子育てにも、子どもたちの町内でがんばろうとする気持ちも薄くなってしまうのは当然ではないでしょうか。

もともと
子どもの
姿に目を
向けて欲
しいと感
じます。
わが子も
含め、ほ
められて
育つ時代
ですから

【3児の母】



答

貴重なご意見ありがとうございます。

さて、ご指摘の件であります。広報誌内の大会成績等を紹介するコーナーでは、1位のみ、もしくは3位までの掲載としています。本来であれば、ご指摘のとおり、出場者全員を紹介し、多くの写真掲載すべきところですが、主にスペースの問題から、それは難しい状況です。
また、町としては成績だけを評価するという方針は全くありません。むしろ、結果そのものより何かに一生懸命取り組んでいる人がいれば、子ども・大人を問わず、多くの方々を紹介していきたいと考えています。
ご意見の内容の通り、何かに日々取り組んでいる人々や、興味を引く話題があれば、その規模の大小にかかわらず、町民の皆様に広く紹介したいと思っておりますので情報提供をお待ちしております。

【政策推進課】

朝日町のエジソン？



井上仙太郎さん（常盤）の庭先ある自家製の手作り噴水機が家族や近所の方々に涼を与えています。

井戸の水を噴水機で垂直に噴射。噴き上げられた水に乗ったボールが上下します。噴水口には傘を逆にしたようなボール受けを取付け、ボールが繰返し噴き上げられる仕組みに。噴水の水はプランターに貯められ、その水が循環して自転車のリムを回しています。

数年前の旅路の際、立寄った休憩所で見つけたものを、見よう見まねで作ったもの。かつてバイクや自転車の販売修理を生業としていた井上さんならではの逸品です。

■お願い

差出人不明のはがきが
多くなっています。その
場合、記載内容について
事実関係の確認ができず
回答できない場合もあり
ます。秘密厳守いたしま
すので記名投稿にご協力
ください。

各種大会の成績

■朝日町春季野球大会
（6月17日／緑ヶ丘公園
／参加チーム数5）①朝
日町職労②キラーズ
■平成19年度西部女性ビ
チバレーボール大会（7



平成19年(2007年)
■6月1日～6月30日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
緑町	鈴木 蓮音	男	靖人・絵利枝
大谷三長岡	珠璃	男	智之・美千代



おしあわせに

豊嶋 宏行 (本町)		鎌田 久美子 (中山町)
大井 寛治 (太郎三)		林 亜希子 (中沢)
大瀧 雅博 (大町)		辻 奈美 (寒河江市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
大暮山	小松 昭吉	正明
栄町	花山 スセノ	本人
明鏡荘	佐藤 金六	シズエ
西町	高橋 よね	久
今平	阿部 菊男	百合子
宿	佐藤 忠吉	みよし
松程	阿部 喜七	喜一郎

掲載を希望しない方は、届け出の際にお申し付けください。

人口と世帯数

●平成19年6月30日現在
人口 8,547人(減18人)
男 4,228人(減9人)
女 4,319人(減9人)
世帯数 2,541戸(減2戸)
()内 前月比



トリニティ先生の 英語にチャレンジ!

Gratitude

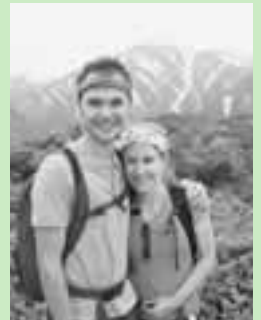
Zachary and I were very lucky to come to Asahi-machi. Here in the countryside of Japan we were able to experience the true heart of Japan. The reason we were able to do that, is because of the people we met here.

We have become friends with people that will remain our friends forever. It was you, the people of Asahi-machi, who made us feel not like we were outsiders but a part of the community. You helped us feel welcome and at ease. You showed us the heart of Japan.

After two years, this is my impression of the heart of Japan and its people. It is accepting like the black earth when it rains, encouraging like the green buds of spring, kind and caring like the warm May sun, forgiving like the cool breeze in summer, hopeful like the blaze of fireworks, unified like the song of the frogs, and beautiful like the peak of Asahi mountain.

We would like to say a special thanks to the Asahi Board of Education and everyone who worked there during these two years. This group of people took care of us and helped us everyday. You are in my heart forever.

THANK YOU!



皆さん本当にありがとう!!!

ザクリーも私もこの町に来て本当に良かったと思っています。ここ(朝日町という)日本の田舎で、私たちは本当の「日本の心」というものに触れることができました。もちろん、それができたのはここで出会った(町の)人々のおかげです。

また、私たちはここで生涯の友となるであろう多くの仲間と出会いました。私たちをよそ者としてではなく、地域の一員(である朝日町民)として優しく迎え入れ、そして「日本の心」を教えてくれたのは、他でもなく町の皆さんなのです。

(朝日町で)2年という月日を過ごした現在、私が考える「日本の心(人)」というものは次の通りです。それは、降り注ぐ雨を吸い込む大地のように私たちを包み込むものであり、また、春の緑の息吹のように元気づけるものです。さらに、5月の暖かい太陽のような親切・気配りの心や、夏の涼しいそよ風のような寛容さ、打上げ花火のきらめきのようなあふれる希望、カエルの鳴き声のような一体感、そして朝日岳山頂のような美しさを持つものです。

最後に、私が教育委員会にお世話になったこの2年間、そこに勤務していた教育委員会の職員の皆さん、また町教育委員会当局に対し、改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。皆さん毎日私を手助けしてくれたり、気遣ってくださいました。皆さんのことはずっと忘れません。本当にありがとうございました。

倉汐梨③佐竹晶
▼中学生①長岡友樹②柏
美②阿部航瑠③長岡航也
大▼小学高学年①斉藤彩
部篤②長岡智枝③阿部竜
者76人)▼小学低学年①阿
日/みはらしの丘/参加
ウンドゴルフ大会(7月8
■第3回西部キッズグラ
好会③栄町ソフトクラブ
①風神②前田沢ソフト愛
運動場/参加チーム数8)
(7月8日/西部地区総合
■町民ソフトボール大会
月1日/健康増進センタ
/参加チーム数7)①夏草
②八ッ沼③常盤B③松程
B

わたしの作品



田中 敦子さん
(立木／あとリエマサト)

平成17年春に山形市の東北芸術工科大学大学院を卒業し、2年前の6月からアトリエ兼住居として旧立木小学校の一角をお借りし、創作活動を行っています。

この作品は、「日本画は宇宙を描く」内之浦絵画コンテスト応募のため、昨年9月に鹿児島県の内之浦射場で行われたMV…7型ロケットの打上げに立会い、その情景について描いたものです。

タイトルの通り、日本画を志してから、ずっと空や宇宙に興味を持っていましたが、立木に来てから、その生活を通していろいろな感性が生まれ、空への興味がいっそう大きいものになりました。

ロケットの発射はほんの…瞬ですが、その瞬間にはいろいろな想いが詰まっていると思います。内之浦地区の人々の想い、ロケット開発者の想い、そして見学者としての自分自身の想い。この作品には、それらいろいろな想いが凝縮されています。



「日本画は宇宙を描く」内之浦絵画コンテスト審査員特別賞受賞作品

「宙(そら)」

「日本画は宇宙を描く」内之浦絵画コンテスト

宇宙航空研究開発機構（JAXA）主催のコンテスト。鹿児島県肝付町内之浦（大隅半島先端部）にあるロケット射場での実際の打上げを見学し、その瞬間を描写した作品について、若手日本画家を対象に募集された。

春夏秋冬

編集後記

今回の特集のコラム欄では、小中学生の携帯電話所持について掲載しました。高校生の携帯電話は当たり前と聞いていましたが、中学生も県全体では所持率が17%という数字に、正直驚きました。私が始めて携帯電話を持ったのは高校卒業後の18歳の時。いわゆる「PHS（ピッチ）」というもので、画面は白黒で、メールは20文字以内など、簡易な機能しかありませんでした。

コラム欄を作っている時に思ったのが、一般家庭に話の誰かが出るかわからない家族の誰か経験はありますか。緊張した経験はありますか。家族の電話に出ることで、家族への確認できるため、親とすれば子どもの交友関係把握という面でメリットもあったと思うかもしれません。特集の内容通り、便利の裏にも影があります。携帯電話の良識ある使用が必要です。（サック）



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。